

広報ふたば



双葉町の新たな未来を拓く取り組みを

双葉町長 伊澤 史朗



す。一日も早い帰還環境の整備に向け、計画に基づく取り組みを早期かつ確実に進めてまいります。

復興の先駆けとなる中野地区復興産業拠点については、平成30年度における一部供用開始に向け整備を進めるとともに、町内業者の事業再開に向けた立地支援と企業誘致にも積極的に取り組んでまいります。

町では「復興まちづくり計画（第二次）」において、「住む拠点」と「働く拠点」を主軸としたインフラ整備を進めていくこととしております。平成31年度供用予定の復興インターチェンジの整備、インターチェンジから拠点区域へのアクセス道路となる県道井手長塚線、町道久保前中浜線、外2路線の整備を推進し、常磐自動車道からのアクセスを確保していきます。

平成31年度末にはJR常磐線も全線開通となり、JR双葉駅も再開いたします。それに向け駅舎の橋上化や東西自由通路の供用開始ができるよう施設整備を進めてまいります。

さらに、JR常磐線の東側の長塚、新山、下条の市街地と、県道井手長塚線より北側の越田地区を合わせた、約90ヘクタールの除染と被災建物の解体を先行して行っており、昨年度実施した町政懇談会

でも町の復興実現に向けた様々なご意見ご要望を多数いただきました。私としても復興実現のためには除染・建物解体は本格復興の第一歩ととらえております。

双葉町への帰還環境整備に向け帰還困難区域の除染をはじめとした新たな枠組みによる復興事業を着実に進めてまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

また、町外拠点となるいわき市勿来酒井地区に建設中の復興公営住宅はいよいよ本年3月までに完成を迎えることとなり、戸建て住宅や集合住宅のほか、双葉郡立診療所、高齢者サポート拠点、集会所、広場、公園、共同店舗を兼ねるような、居住者の安全・安心と利便性の向上を図っていきます。

町民の皆さまの生活を支える各種支援策や原子力損害賠償についても今後とも粘り強く国に要望していく所存です。

町立学校再開から5年目を迎えます。さらに新たな気持ちで町の将来を担う次世代の育成のため「双葉町教育ビジョン」に基づき、一人ひとりを大切にする少人数教育、幼・小・中学校の連携による教育の一体化、ICT関連機器を生かした教育や英語教育など特色ある教育を推進して

いきたいと考えております。将来の町の復興や再生、文化・歴史の伝承の役割を担う次世代の育成は、重要課題であり、町の存続に係わるものとして双葉町の最重点施策と位置付けております。

本年も常に初心を忘れず、必ず双葉町を復興させるという強い信念を持ち、議会と連携しながら職員とともに町の復旧・復興、並びに町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業に精力的に取り組む、双葉町の新たな未来を拓く取り組みを着実に進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

寒さの厳しき折、町民の皆さまには健康に留意され、本年が良き年となりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



教育長 館下 明夫



副町長 金田 勇

平成30年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。東日本大震災と東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による全町避難から、7年目の新年を迎えました。双葉町は町の96%が帰還困難区域であるため、これまで復興への取り組みがなかなか前に進まず歯がゆい思いをしておりましたが、昨年9月に、内閣総理大臣から帰還困難区域の復興に向けた「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画」の認定を受けました。これにより、当町でも、除染・解体・インフラ復旧等、復興に向けた動きが本格化したしま

希望

双葉町議会議長 佐々木 清一



平成30年の新春を迎え、議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故により避難を強いられ、早や6年9カ月が経過しますが、避難先で7度目の新年を迎えることになりました。

この間、大変辛く厳しい不自由な避難生活の中で、ふるさと双葉町に戻る事が叶わず亡くなられた皆さま、ご家族の皆さまに対し、衷心よりお悔みを申し上げますとともに、避難生活を送られています全ての町民の皆さまにお見舞いを申し上げます。

昨年は、避難指示解除準備区域である両竹・浜野地区の除染終了に伴い、中野地区復興産業拠点整備に向けての用地取得、さらに駅西地区生活拠点整備に向けた構想の策定など、復興に向けた様々な取り組みが動き出しました。また、現在、双葉町共同墓地整備が進められており、関係機関との調整を行っているとのことであります。

9月には、改正福島復興再生特別措置法に基づき、帰還困難区域内の特定復興再生拠点を整備するため、議会として了承した「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画」が政府から認定をいただきました。駅東地区を含む約555haの計画であります。今後この計画推進のため、議会といたしましても、町としっかりと議論を行い、復旧・復興に努めるとともに、認定区域以外の地域の復旧・復興に対しても、しっかりと取り組んでまいります。

県で実施している事業の防潮堤の工事も進んでおり、さらに復興祈念公園やアーカイブ拠点施設についても協議が進められ、基本構想がまとまった状況となっております。

双葉町民が優先的に入居できる勿来酒井地区復興公営住宅も間もなく完成し、3月頃から順次入居可能となる見込みです。町民の絆の維持に必要な住宅の完成を、大変うれしく思っている次第であります。

今後避難生活が続く中で、町民の皆さまが一番不安視しています医療費の一部負担金等の減免措置については単年度ごとの延長であります。一昨年12月に閣議決定した原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針の中で「復興・創生期間を通じて継続的に後押しして行く」と明記がされました。高速道路の無料措置については、平成32年3月末までの期間延長となりました。また本年4月10日までとなっております。自然災害による被災者のための被災者生活再建支援制度の継続について、今後も住民支援のために、積極的かつ継続的に要望をしてまいりたいと考えています。

昨年2月の議員改選から、間もなく1年が過ぎようとしています。これから町民の皆さまの付託に応えられるよう議員一丸となって頑張つてまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、今後も町の復興に町民支援に全力を傾注し、議会としての責務を全うすることをお誓い申し上げますとともに、町民の皆さまお一人おひとりが健康で希望を持ち、日々過ごされますよう心からお祈り申し上げます、新年の挨拶いたします。



双葉町議会

議長 佐々木 清一
副議長 岩本 久人
議員 尾形 彰宏
石田 君子
羽山 翼
高萩 孝
菅野 紀
清川 弘

〃 〃 〃 〃 〃

福島市立清水小学校6年

藤田 凜音さん（寺松）



（写真左が凜音さん）

私の新年の抱負は、二つあります。一つ目は、春から私は中学生になるので、現在よりももっとたくさん予習、復習を

して、中学の授業のペースについて行けるようにがんばり、一日一回は手を挙げて発言したいです。また、私は運動が苦手ですが、普段から体力づくりをして、走る時や泳ぐ時のタイムをもっと縮められるようにがんばって運動したいです。二つ目は、読書です。私は、本を読むのが好きで、今までもたくさん本を読んできましたが、今年はさらにたくさん本を読んで、表現力、想像力などの国語力を高めていきたいです。

田村市立船引小学校6年

黒木 劉心くん（新山）



ぼくが今、がんばっていることは、三つあります。一つ目は勉強です。くもんを小学二年生の時から続けてきました。計算は得意だけれど、国語が苦手なので、読書を毎日少しずつするようにし

ています。中学校では、勉強も難しくなるので予習・復習を大切にしていきたいです。次に、サッカーです。中学校になったら、サッカー部に入り、レギュラーになって、夢のサッカー選手になりたいから、がんばります。三つ目は、お手伝いです。ぼくには兄弟が三人いるので、少しでもお母さんが楽になるよう皿ふきや弟のめんどろ、お風呂洗いを手伝っています。中学校になっても、三つの事をがんばって夢を実現したいです。

年男年女の子どもたちに 今年の抱負や目標を聞きました

いわき市立郷ヶ丘小学校5年

富澤 世羅さん（新山）



震災の時、私はふたば幼稚園の年少さんでした。いつもは延長保育で夕方まで幼稚園にいたのですが、震災のあった日の朝、私が「今日は早く帰りたい」と言って延長保育なしで帰ったそうです。それで、家で震災にあいました。おばあちゃんとお母さんが一緒だった

のであまり怖い思いはしなかったんだと思います。幼稚園の思い出は、広い園庭で走りまわった事、生活発表会でドラえものの曲でやった事を覚えています。双葉の家では、おいしいたけのこが、たくさんとれて、たくさん食べられたのを思い出します。今は食べられないのがとても残念です。避難生活では、双葉を入れて幼稚園が三回変わりましたが、みんなが仲良くしてくれて、楽しく過ごせました。私の新年の抱負は、今年は、六年生になるので、最後の小学校生活勉強も、お友達との遊びも楽しみたい。あと、いわきに来てから習い始めた合気道が、もっとうまくなれるように、練習を頑張ります。

東京都府中市立府中第二小学校5年

石井 翔吾くん（長塚二）



ぼくの通っている小学校には、五年生から入れるウインドオーケストラのクラブがあります。ぼくは、そのクラブでテナーサクスを担当しています。

週に四回朝練があり、月に一度講師の先生に教えてもらっています。ウインドの活動として、入学式や運動会、その他音楽祭などで演奏しています。これまでの活動の中で一番思い出に残っているのは、青少年音楽祭です。なぜなら広いホールでたくさんの人が見ているなか演奏することができ、とても気持ち良かったからです。来年新しい五年生が入るので、教えてあげられるように日々がんばりたいです。

須賀川市立西袋第一小学校6年

古和田 桜華さん（下条）



震災から七年が経とうとしています。あの時、私は年中組でした。家族皆で会津に避難し、四年生まで若松の学校に通い、五年生からは、須賀川市に転校し二年が経ちま

双葉町立双葉南小学校6年

菊地 翔輝くん（山田）



ぼくは、この春から中学生になります。中学生になったがんばりたいことが二つあります。一つ目は勉強です。中学生になると学ぶ教科が増え、三年間という短い期間で

す。部活は合奏部に入り、放課後や夏休みに一生けん命練習を積み重ね、昨年11月千葉県で行われた全国大会に出場することができました。

今年の目標は、中学生になるので、まず苦手な運動を克服するために運動部に入りたいと思っています。それから将来に向けて勉強もがんばりたいです。四月からは、妹も新一年生になるので、姉として色々な事を教えてあげたいです。

一日一日を笑顔で楽しく過ごし、内面も成長できるような一年にしたいです。

高校受験がひかえているからです。ぼくは、福島県立平工業高校に行くという目標があります。いろいろな物の設計をして、世界でも名の知られる人になりたいです。二つ目は運動です。中学生になると部活動が始まります。ぼくは、運動は得意な方ではありませんが、精一杯がんばりたいです。東日本大震災と原発事故で、長く避難生活をしています。今の町立小学校には、保育園からの友だちもいるので、これからまはげまし合ってがんばっていきたいと思っています。



いわき市立菊田小学校5年

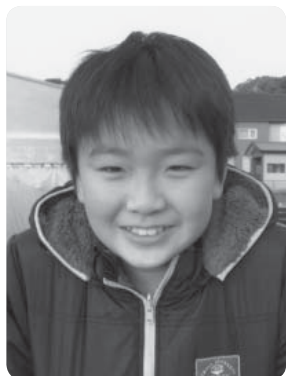
榎内 伶那さん（長塚二）



私は今年12才になります。しん災時はようち園の年少でした。今はいわきの菊田小学校に通っています。私は入学当初から菊田小だったので、

いわき市立磐崎小学校5年

西尾 吏功くん（渋川）



新年の抱負は今通っているスイミングスクールで、ぼくの2つ上の階級で一番上の階級でもある、スーパードになることです。ぼくので通っている所は、家から遠いので週に一回しか通えませ

双葉にいた時よりもたくさんの友達が出来ました。

今年は小学校まとめの年になるので、今以上に勉強や色々な事をがんばりたいです。

私は、五年生の時にピアノを習い始めました。他の子たちより、かなりおそい時期に習い始めましたが、中学校に行ってから続けることが出来たらと思っています。

勉強の方もなるべく苦手教科をなくせるようにがんばっていききたいと思っています。

ん。テストは月に一回あるのですが、練習量が少ないのでなかなかタイムを縮めることができません。なので走って、持久力をつけたり家でストレッチなどをして、体づくりをしようと思っています。そしてコーチの指導通りのフォームで泳ぐことができるようになれば、泳ぐスピードも上り、次の階級に上がれるはずです。スーパードになったから、だれよりも速い自分になつてできる限りのベストをつくしたいです。

第4回双葉町議会定例会

12月12日招集の平成29年第4回双葉町議会定例会で、伊澤史朗町長が行政報告を行いました。その概要をお知らせします。



行政報告



9月定例会以降の 行政経過

― 双葉町・特定復興再生拠点 区域復興再生計画 ―

双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画が、9月15日に内閣総理大臣の認定を受けました。帰還困難区域内の除染解体を始めとする、町内

の復興まちづくりに本格的に着手できる環境が整ったところであります。

これを受け、12月9日に郡山市で、12月10日にはいわき市で、双葉町と環境省との合同による双葉町特定復興再生拠点区域内の除染・建物解体工事等に係る説明会を開催したところ、両会場併せて192人の方々に参加いただきました。今後、拠点区域内の除染・インフラ整備など、国・県と連携し取り組んでまいります。



― 市町村対抗 野球・ソフトボール大会 ―

野球・ソフトボール大会

9月16日、第11回市町村対抗福島県軟式野球大会が須賀川市牡丹台球場で、10月14日には第4回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいプレーに、大変勇気づけられたところです。



― 敬老会 ―

9月18日、震災後2回目となる双葉町敬老会を、いわき市のスパリゾートハワイアンズで開催し、県内外から多数の方々に参加いただきました。式典前には行政区ごとのテ-

ブルに分かれ昼食交流会が行われ、久々の再会を喜び合っていました。式典では、207人の出席者を代表して93歳になられた佐藤正弘さん(郡山)へ記念品を贈呈いたしました。また、6組の金婚夫婦に福島民報社から表彰状と記念品が贈られました。式典後には、JASマイル大正琴、コーラスふたば、民謡同好会の素晴らしいステージが披露され、出席された皆さんは楽しいひとときを過ごされました。



― JR基本協定書締結 ―

10月4日、JR東日本水戸支社と「JR双葉駅東西自由通路及び橋上駅舎の整備に関する協定書」を締結

しました。平成31年度末に予定されている常磐線全線開通に合わせ、供用開始を目指し整備を進めてまいります。



「ふたばスポーツフェスティバル2017」

10月8日、いわき市の南部アリーナにおいて、震災後初となる町民体育祭に代わるスポーツイベント「ふたばスポーツフェスティバル2017」と、公益財団法人日本オリンピック委員会主催によるオリンピックとスポーツを楽しむ「オリンピックデー・フェスタinふたば」を合同で開催しました。ロンドン五輪で銀メダル、リオ五輪で銅メダルを獲得した重量挙げの三宅宏実さんら5人のオリンピックがキャプテンを務める5チームに分かれて、手つなぎ鬼や小玉回し、玉入れなどの競技で汗を流し順位を競いました。参加者の

皆さんは、オリンピックと触れ合いながらスポーツを通じて心身のリフレッシュを図り、参加者同士の交流を深めていました。このスポーツイベント開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。



「町政懇談会」

10月12日から11月4日まで、福島県内外12会場で町政懇談会を開催し、300人の方々にご出席いただきました。今回の町政懇談会では、まず私から町内復興の取り組みについて報告した後、教育長より町立学校の状況等について、担当課長より、

復興まちづくり計画（第二次）や特定復興再生拠点区域復興再生計画、平成29年度住民意向調査、中間貯蔵施設計画地内町有地の取り扱い、町共同墓地の整備など復興に関する各種施策について説明を行いました。続いて、町民の皆さんから町政全般について、数多くのご意見、ご要望、ご質問等をいただきました。今後の町政運営に反映させるべく検討してまいります。



「作品展覧会（いわき市）」

10月28日、29日の両日、勿来地区文化協会のご支援により、いわき市勿来体育館で開催された勿来地区総合文化展において第4回双葉町民作品展覧会を開催しました。町立小・中学校の児童生徒をはじめ、いわき市、加須市などから町民の皆さんの

作品が出展されました。また、29日には、いわき市勿来市民会館において勿来地区総合芸能祭が開催され、双葉町からはコーラスふたば、JASマイル大正琴、民謡同好会の3団体が出演し、勿来地区の皆さんと文化交流を図りました。



「現橋撤去工事着工」

11月1日、町道山田・郡山線の富沢橋架け替え工事に伴う、現橋撤去工事が環境省により着工されました。今年度中には撤去が完了し、平成31年度末までには、幅員11.5メートル、橋長41.2メートルの新しい橋に架け替えられる予定であります。

―表彰式―

11月3日、いわき事務所において、平成29年度表彰式を挙行いたしました。式では、特別功労表彰、功労表彰をそれぞれ1名の方に、永年勤続表彰を11名の方々に、感謝状を3団体にお贈りいたしました。

これまで多年にわたりそれぞれの職務に精励努力されてきた方々の功績を称え、また、避難者支援にご尽力いただいた方々に心から感謝の意を申し上げますとともに、双葉町の復興の諸課題への対応に向けて、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。



―梅檀祭―

同じく11月3日、幼稚園・小・中学校による「梅檀祭」が、双葉町立

学校仮設校舎体育館において開催されました。総合的な学習の発表や子どもたちが一生懸命練習を重ねた標葉せんだん太鼓や創作劇、合唱などが発表され、参観された皆さんに大きな感動を与えました。



―総合美術展・作品展覧会 (郡山市)―

11月7日、8日の両日、郡山ビッグアイで、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催の第30回双葉町総合美術展と第4回双葉町民作品展覧会が開催され、すばらしい作品が展示されました。多くの町民の皆さんが会場を訪れ、作品を鑑賞するとともに再会を喜び合っていました。

―消防団検閲式―

11月11日、平成29年双葉町消防団検閲式を、双葉町立学校仮設校舎体育館で開催いたしました。61年振りに新しく制作された団旗のもと、団長の指揮により、閲団と通常点検が行われ、団員の皆さんの士気の高さを確認いたしました。



―ふくしま駅伝―

11月19日、第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が開催されました。選手の皆さんは、北塩原村などで2回の合宿を行い、チームワークを高め、当日は心を一つに大会に臨み、見事な走りを見せてくれました。選手の頑張りは、町民の皆さんに元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

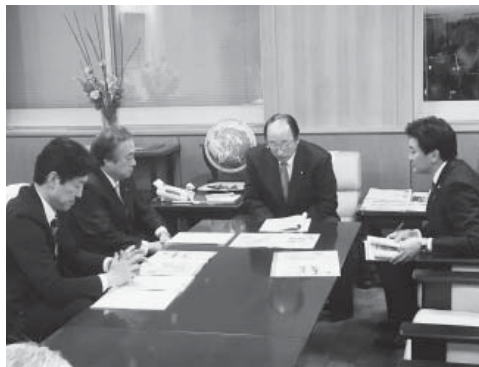


―国の災害査定を実施―

12月5日に町道前田・長塚線外1路線3箇所の国の災害査定が実施され、国費負担による復旧工事が認められました。今後も災害復旧等を実施し、双葉町の復興を加速させてまいります。

―要望活動―

12月4日、5日の2日間、平成30年度国の予算要求に向けた要望活動を行いました。特に、被害実態に即した賠償と生活支援の実施、高速道路の無料措置の延長、医療費一部負担金等の減免の継続と生活再建支援金の継続、町内除染の早期かつ計画的な実施など、町の復興再生に向けた重点課題について関係省庁へ強く要望いたしました。



―中間貯蔵施設―

中間貯蔵施設の受入・分別施設、土壌貯蔵施設についてですが、10月28日に大熊町の土壌貯蔵施設で貯蔵が開始されたことを踏まえ、10月30日に中間貯蔵に関する専門家会議、11月14日に中間貯蔵施設環境安全委員会が双葉、大熊町の両施設を視察し、安全性の検証が行われました。

―いわき市勿来酒井団地―

いわき市勿来酒井団地の整備状況ですが、10月末現在における工事進捗率は、基盤整備工事が98パーセント、集合住宅建築工事が74パーセント、木造戸建て住宅建築工事が2パーセントとなっております。



―中野地区復興産業拠点―

中野地区復興産業拠点整備についてですが、10月25日にUR都市機構（独立行政法人都市再生機構）と締結した業務委託契約を踏まえ、UR都市機構による設計施工一括での発注が行われ、平成30年度における一部供用開始に向け取り組んでいるところでです。



―復興まちづくり計画―

復興まちづくり計画（第二次）を具現化させるための取り組みについては、庁内の検討組織である復興まちづくり計画推進会議幹事会のワーキンググループでの検討結果及び復

興町民委員会などからのご意見を踏まえ、復興まちづくり計画（第二次）に係る実施計画の改訂に向け、取り組んでまいります。



平成30年度予算の要求に向けた 国への要望活動を行いました

12月4日、5日の両日、伊澤史朗町長は、復興庁の吉野正芳大臣をはじめ関係省庁に対して、要望活動を行いました。

主要要望項目は、被害実態に即した賠償の実施と町民の生活再建支援、避難者に対する高速道路の無料措置の一括延長、医療費一部負担金等の減免の継続、町内の速やかかつ計画的な除染の実施、復興財源と国の支援体制の長期的な確保などで、町の復旧・復興に向けた重点課題について強く要望いたしました。



福島県と被災4町との 合同要望を行いました

12月4日、伊澤町長は、福島県鈴木正晃副知事、富岡町、大熊町、浪江町とともに、自由民主党東日本大震災復興加速化本部の額賀福志郎本部長に対して、生活の基盤である住居について、応急仮設住宅の供与期間延長を踏まえ、家賃賠償の対象世帯についても、地域の実情等に応じた適切な対応を行うよう、東京電力を指導することを要望いたしました。



平成29年11月26日、KFB福島放送主催による「ふくしまの元気！応援CM大賞」審査会が開催され、町が応募したCM作品「双葉町からありがとう」が特別賞となる「福島県市長会会長賞」を受賞しました。

今回、応募した作品は、町が東日本大震災・原子力発電所事故の発災以降に多くの方からご支援をいただき、そのご厚意は現在も続いていることから、これらの支援に対する町民の感謝の気持ちを「ありがとう」という言葉に込めて制作したものです。

作品の制作にあたっては、復興支援員（映像等制作支援）が企画・取材・制作を行いました。復興支援員が企画し、8月から始めた「ありがとうメッセージプロジェクト」において、町民の方が参加するイベントなどに伺いながら町民の被災支援体験を取材し、「ありがとう」というメッセージを数多く集め、それらを編集して15秒の作品にまとめました。



KFB福島放送

ふくしまの元気！応援CM大賞
福島県市長会会長賞受賞

受賞の際には、審査員から「ありがとう」という単純な言葉だが、その感謝の気持ちが込められており、その気持ちが伝わった」と講評をいただきました。

今回の作品は、KFB福島放送において年間30回放送されます。

コンビニエンスストア等における住民票などの各種証明書の自動交付サービスの一時停止について

コンビニエンスストア等におけるマイナンバーカードを利用した住民票などの各種証明書の自動交付サービスについて、システムの改修作業のため、証明書の発行が、次の期間停止されますのでご注意ください。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

● **停止期間※** 平成30年1月11日(木) 17時30分から21時30分まで

● **出力が停止される帳票** 住民票の写し、印鑑証明書、戸籍謄本(抄本)、戸籍の附票の写し、所得・課税証明書

※コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービスの利用可能時間は6時30分から23時00分までです。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 戸籍係 ☎0246-84-5204

指名競争入札参加資格審査 平成30年度申請受付

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加審査資格申請書」を提出する必要があります。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。

今回は、追加で有資格者登録を希望する方について、平成30年度の1カ年の資格審査申請書を受け付けます。

▼受付期間

平成30年2月1日(木)から2月28日(水)まで
持参の場合：午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く

▼提出書類

- ・福島県様式に準じる(各1部提出)
詳細は双葉町のホームページをご確認ください。
- ※申請書はA4ファイルとします。
- ※ファイルの色については、(建設工事：グリーン、測量等：イエロー、物品・役務：ピンク)で提出してください。

▼提出場所および提出方法

持参または郵送(締切日必着)のいずれかの方法により双葉町いわき事務所総務課管財係へ提出してください。受付票が必要な方は、受付印を押印する書類と返信用封筒、もしくは返信用はがきをご用意ください。(任意様式可。宛先を記入し、必ず郵便料金分の切手を貼り付けること。)

▼当該資格の有効期間

平成31年5月31日まで有効です。

【問い合わせ先】 総務課 管財係 ☎0246-84-5201

生活サポート補助金 臨時窓口開設のお知らせ

「生活サポート補助金」の申請について受付相談できる臨時窓口を開設します。

提出書類の書き方や受付申請できる内容などを対面で詳しく相談できますのでぜひご利用ください。

場 所	期 間
キャスルきさい (加須市)	1月30日(火)～1月31日(水) ※午前9時から午後5時
郡山支所	1月23日(火)～1月25日(木) ※午前8時30分から午後5時

なお、いわき事務所においても常時受付相談を受け付けております。

午前8時30分から午後5時までです。(土・日・祝日を除く)

双葉町生活サポート補助金コールセンターもご利用できます。

☎0120-280-707

お骨の事前スクリーニングについて

お墓からお骨等を持ち出す際に、立会のもと事前スクリーニングするお手伝いをさせていただいておりますのでご連絡をお願いいたします。

1. 対象地域 双葉町全域

2. 作業日時 毎週月、火、水の10:00～15:00
(祝日は除きます)

※上記以外の曜日を希望される場合は、個別相談とさせていただきます。

3. お申し込みご確認事項

- ・ご住所(自宅住所および墓地所在場所)
- ・ご連絡先電話番号(携帯等)

※改葬する場合は別途、町からの改葬許可が必要となりますのでご承知おきください。

■お申し込み先：東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社 双葉町グループ

■連 絡 先：080-6847-2986

■受 付 時 間：午前 9:00～12:00
(土・日・祝日を除く) 午後 13:00～17:00

市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 第29回 ふくしま駅伝

11月19日、第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が開催され、しらかわカタルスポーツパーク（白河市総合運動公園）をスタートし、福島県庁までの94.8kmを16人の選手がタスキをつなぎました。

双葉町チームは、全国へ避難している中での参加となり、選手の確保が厳しい上、チーム練習もなかなか実施できない中でしたが、夏と秋の2回にわたりチーム合宿を行い、選手やスタッフ全員の気持ちをひとつにしてきました。さらに、一人ひとりが個人練習を積み重ねて力をつけ、大会に挑みました。

当日は、気温が低く小雪が舞う寒い一日となりましたが、選手の皆さんはふるさと双葉町への思いを胸に精いっぱい走りを見せられました。惜しくも繰り上げスタートとなってしまう区間もありましたが、次の中継所で待つ仲間へタスキをつなぐため、必死に前を見て走る姿があり、沿道からは駆け付けた町民の方々や他市町村の方からも、双葉町の手旗を振りながら温かい声援が送られました。成績は、総合45位、町の部24位と昨年よりも順位を上げる好成績を残し、大変健闘しました。

大会前に募集していた選手の皆さんへの応援メッセージで動画を制作し、前日に選手の皆さんへ披露して町民の皆さんからのエールを送りました。たくさんの方々の応援を背に、選手の皆さんは力を出し切り、町民の皆さんへ希望と感動を与えてくれました。



双葉町内工事のお知らせ

工事名：道路橋りょう整備（帰還）工事（改良舗装）
住所：双葉郡双葉町大字寺沢地内（県道井手長塚線）
工事期間：平成30年1月9日から平成30年3月30日
作業時間：9:00～17:00（日曜日は除く）
工事内容：常磐道（仮称）双葉ICの接続道路として県道を拡幅する工事です。
発注者：福島県相双建設事務所事業部道路課
連絡先：0244-26-1214
施工業者：田中・栗林特定建設工事共同企業体
連絡先：0244-26-7133（栗林建設(株)東北支店）



～教育長メッセージ～

2018年 夢と希望のある「学び」へ

新年明けましておめでとうございます。子どもたち、そして保護者の皆さま、町民の皆さまにおかれましては、穏やかなお正月をお過ごしのことと推察申し上げます。

さて、避難先においてのお正月も7回目になりますが、ふるさとを思いつつ現在の生活の充実に向けて2018年を歩もうと多くの抱負を抱えていることと思います。教育委員会としまして、町立学校はもとより、避難先で学校生活を送っている双葉町の子どもたちが安全で安心して、そして楽しく学校生活が送れるよう応援してまいりたいと思います。

また、生涯学習における各自治会や婦人学級、さらには芸術文化・民俗芸能といった団体で熱心に活動されている皆さまにとっても夢と希望のある「学び」が実現できるよう物心両面に渡りサポートして参りますので本年もよろしくお願い申し上げます。

双葉郡教育復興ビジョン第4回ふるさと創造学サミット

12月9日(土)ビッグパレット福島において開催されました。「ふるさと双葉町について」クイズ形式だったり、総合学習で調べたことのプレゼンだったり工夫しながら発表できました。すばらしい表現力には驚かされました。双葉郡内の仲間と交流する機会として、テーマである『伝え合い、つながって、広がるふたばの学び』が有意義に実践できていると感じました。双葉郡8町村が一つとなって繰り広げる特色ある教育活動だと思います。

さらに吉野正芳復興大臣もお見えになり感想と激励をいただきました。これからも課題を力に変えて、子どもたちの成長のため推進しなければいけないと思いました。



「いじめ問題への対策」として

◎ 児童・生徒の皆さんへ

いじめは絶対に許されない行為です。もし、いじめ問題で悩んでいる場合は、すぐに学校の先生や家族に相談しましょう。双葉町教育委員会でも皆さんが強く、たくましく未来に向かって前進できるよう全力でサポートしたいと考えています。電話でもメールでもかまいませんので、困りごとや悩み事がある場合はいつでも相談してください。

◎ 保護者の皆さまへ

早期発見・早期対応がよい解決につながります。SNSによるトラブルも心配ですので、お子さんと話し合い確認してください。お子さんがいじめを受けている兆候や心配があるときは早急に学校、地元教育委員会へ相談することが大切です。もし、避難先で誰も手を差し伸べてくれず困った時は双葉町教育委員会にご連絡ください。大切なお子さんの助けになるよう全力で取り組んでまいります。

双葉町教育長 館下 明夫

ご成人おめでとうございます

成人を迎えて

成人式実行委員長 やなぎさわ よしき 柳澤 良樹

東日本大震災から約7年が経ち、こうして双葉町の新成人として迎えられたことを、大変うれしく思います。

あの日から私たちの環境は大きく変わりましたが、家族や友人、地域の方々に支えられていたことを改めて実感しつつ、今日まで過ごしてきました。



成人を迎え、さまざまな思いがありますが、これからは責任ある行動をして形だけでなく中身もしっかりした大人になるよう努力していきたいと思います。

これからも皆さまのご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



平成30年 成人者名簿

(五十音順)

双葉町成人式

日 時：平成30年1月3日(水)

受 付 11時30分～

記念撮影 12時50分～

式 典 13時15分～

場 所：いわきワシントンホテル

男 子 31人

氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区
青 木 隆 成	長塚一	木 村 和 虎	三 字	関 根 和 希	新 山	橋 本 広 夢	下 条
伊 澤 嵐	新 山	見 目 海 斗	山 田	高 野 晃 徳	下長塚	早 瀬 維 吹	三 字
石 上 昂 基	新 山	近 藤 史 章	長塚二	武 田 瑞 樹	新 山	松 田 賢 太	三 字
井 上 慎太郎	下 条	紺 野 晟 汰	細 谷	館 下 滉 平	長塚一	松 永 智 哉	寺 松
小 畑 辰 之	長塚二	志 賀 亜 清	長塚二	永 井 宏 典	長塚一	三 輪 輝	新 山
会 田 聖 矢	長塚二	渋谷 徳 之	郡 山	成 田 翼 冴	新 山	柳 澤 良 樹	新 山
勝 山 誠 也	下 条	清 水 拓 斗	長塚一	西 山 竜 生	新 山	山 本 拓 海	郡 山
加 藤 佑 規	山 田	新 野 雄 大	下 条	根 本 康 正	長塚二		

女 子 40人

氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区
青 木 真里奈	長塚一	大久保 歩 未	山 田	佐 藤 琴 花	下 条	半 谷 奈 未	三 字
天 野 明日香	山 田	加 藤 椋 花	長塚一	志 賀 彩 香	郡 山	平 岩 佳那子	両 竹
天 野 紗 季	下 条	金 澤 美 歩	郡 山	志 賀 知 佳	浜 野	星 輝	下 条
池 田 栞 奈	三 字	加 村 綾 華	三 字	高屋敷 彩 花	三 字	武 藤 きらら	三 字
石 上 裕美子	石 熊	北 村 仁 美	山 田	千代田 幸 奈	羽 鳥	村 山 桜 花	下 条
伊 藤 布仁香	新 山	衣 川 咲 希	鴻 草	頓 宮 真 珠	長塚二	森 藤 那 佳	長塚二
井戸川 みな美	新 山	後 藤 里 奈	三 字	中 井 杏	浜 野	森 野 桃 香	郡 山
遠 藤 杏 花	細 谷	今 野 瑠 心	下 条	中 野 玲 美	鴻 草	山 本 愛 華	長塚一
大 内 沙理奈	三 字	酒 井 麻理子	下 条	林 美菜子	下 条	山 本 佑 香	石 熊
大 浦 真 子	長塚一	坂 本 紗梨奈	三 字	林 由 香	下 条	吉 田 美 花	渋 川

◆◆ 新成人の皆さまおめでとうございます ◆◆

20歳になったら国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務づけられています。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後の生活を保障するだけでなく、万が一、病気や事故で障害が残ったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、加入手続きを行いましょう。加入に関する各種手続きは、役場または最寄りの年金事務所へお問い合わせください。

※20歳前に就職して厚生年金に加入中の方は、手続きは不要です。

国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります。

- 老齢基礎年金
- 障害基礎年金
- 遺族基礎年金

※上記年金を受給するためには、それぞれ受給要件があります。

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	20歳以上60歳未満の 自営業、農林漁業、学生、 無職の方など	会社員、公務員など	第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者
保険料	国民年金保険料 定額：16,490円 (平成29年度) 付加保険料：400円	報酬に応じて、事業主と被保険者が折半で負担します。	被保険者本人は保険料負担が不要です。(配偶者の加入している厚生年金の保険者が負担します。)

学生納付特例制度について

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

年金手帳は大切に保管しましょう！

公的年金制度では、全ての年金制度に共通する基礎年金番号が使用されます。国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料状況等がこの番号で管理され、年金に関する手続きの際必要となりますので、大切に保管してください。

学生納付特例が承認された期間の年金は、将来の受給資格期間には導入されますが将来もらえる年金額には反映されません。ただし、10年以内であればさかのぼって納める（追納）ことができます。将来受け取る年金額を増額するためにも、社会人になってから保険料を追納することをおすすめします。

両竹行政区

総会・交流会



11月18日、19日、いわき市湯本温泉「うお昭」において、両竹地区の総会・懇親会が開催され、県内外の避難先から19名の方々が参加しました。

総会は午後4時から、湯本駅前の商工会館をお借りして行いました。齊藤六郎区長あいさつの後、伊澤史朗町長、金田勇副町長に出席いただき、「町の現状と今後の取り組み」についてのお話をいただきました。

議事に入り、議長に平岩邦弘さんを選出し、昨年の行事と会計決算報告があり、次に役員改選が行われ、齊藤区長が退任、新区長に佐藤孝さんが、新副区長に泉田達生さんが選出されました。

地区内の今後の課題として「諏訪神社再建」の話があり、木幡宮司は「神社は是非とも再建したい。小規模ではあるが両竹の皆さんと話し合いながら神社再興を果たしたい」との意であると齊藤区長より紹介されました。

その後、NPO法人歴史資料継承機構「じゃんぴん」の泉田邦彦さん（両竹出身）から『両竹地区の歴史と文化を継承するため』と題した歴史に関する本を出版し、両竹地区全戸に配布したい」との話があり、両竹に新しいページが開かれた思いで総会を閉じました。

懇親会は佐藤孝さんの乾杯の音頭で始まり、久しぶりの再会で話がはずみ、お酒も進みました。あちらこちらで明るい笑い声があふれ、地区住民の集まりならではの懇親会でした。

年々参加者が減少していく総会ですが、この総会だけは続けていきたいものと思います。翌日は次回の総会・懇親会を楽しみに三々五々と帰路につきました。

◆◆ YoY (ワイワイ) 交流会 in 群馬を開催 ◆◆

11月15日、群馬県みどり市の大間々駅に集合し、YoY交流会 in 群馬を開催しました。わたらせ渓谷鐵道のトロッコ列車に乗り、みどり市（一部桐生市）のわたらせ渓谷の紅葉を満喫しました。その後、神戸駅から車に乗り、富弘美術館を見学し、草木ダム展望台、道の駅くろほねを回り、葛葉茶寮でちょっと遅い昼食の「ひもかわうどん」を食べました。オプションで、ながめ公園で行われている関東菊花大会を見学し、演劇・歌舞伎・落語等のショーが行われるながめ余興場では、舞台の上から客席側を見たり、回り舞台も見ることができました。

今回参加した双葉町民は9名で、東京や茨城から参加していただきました。快晴ではありましたが寒いかと心配したものの予想より暖かい気温で、参加者からは「動

きやすい」「窓の外の景色が素晴らしい」「自分の人生で初めてトロッコ列車に乗り、ウキウキした」との声が聞かれました。

また双葉町より配布されているタブレットのコミュニティ広場に計画時点のチラシや当日の写真を載せたところ2000件を超える閲覧があり、驚きました。

今回、トロッコ列車の整理券は大間々駅では10枚までしか購入できないことを整理券販売時刻の10分前に知り、急ぎよ桐生駅に行き不足分の整理券を購入しました。準備万端と思っていましたが、この件は事務局の調査不足であり、何か突発的な事象が起きても良いように、今後気をつけたいと思います。

YoY交流会 事務局



「冬季研修会」行政區長会

行政區長会は、11月26日(日)、27日(月)の1泊2日で、石川町猫啼温泉にて14行政區長が参加して冬季研修の勉強会を開催しました。

猫啼温泉は古い歴史を誇り、宿から眺めるなどらかな里山は師走を前にして一段と秋が深まり、指呼の間にある穏やかな風情は、故郷双葉を連想させる景観でした。

研修勉強会では、各行政区内住民の避難先把握の取り組み、大字会開催周知方法や開催結果の話題や課題の報告、さらに東京電力賠償の事例や情報交換などが

活発に話し合われ、町への要望なども協議され、貴重な内容を共有しました。

夜の懇親食事会では、個別の経験、今後の事、故郷双葉への思いが募る話題等で懇親を大いに深める事ができました。

かつて経験したことのない想像を絶する震災、原発事故で、地区内住民の安否確認や避難先把握、情報発信及び東京電力に対する行政区の賠償問題等の対応を乗り越え、来春には退任を予定されている各行政區長の労いを兼ねた集会等を3月に計画しました。

12月9日、薄磯団地自治会の方々を来賓として迎え、いわき・まごころ双葉会の12月例会が開催されました。

いわき・まごころ双葉会の木幡智清会長のおいさつに続き、伊澤史朗町長と薄磯団地自治会の大河内前自治会長がいさつし、事務局から薄磯団地自治会へ双葉ダルマが贈られました。

参加者は久々の再会を喜びながら、ビンゴゲームや食事、事務局の講話「18歳と81歳の違い」や双葉町健康福祉課保健師の講話、笑いヨガなどを楽しみました。

また「明日を繋ぐ癒しの時間」と題し、いわき市のコーラスグループ「コール・フロイデ」のミニコンサートも行われました。クリスマス前にふさわしいハンドベルでのきよしこの夜の演奏のほか、みんなで歌いましょうのコーナードでは双葉町民の歌を参加者と一緒に歌いました。

コール・フロイデは平成25年のいわき・まごころ双葉会例会から毎年、同例会でミニコンサートを行っており、今年で5回目になります。

代表の永島美恵さんは「皆で集まっている時には日頃の嫌なことを忘れて歌っています」と話し、指揮者の谷恵美さんが双葉町ダルマ市で購入したミニ双葉ダルマに

いわき・まごころ双葉会 薄磯団地自治会と交流 (12月例会)

目入れしました。

毎年6月頃に開催するコンサートの時に着用するドレスと同じ色の双葉ダルマを購入しているそうで、永島さんは最後に「来年の双葉町ダルマ市にも行きます。来年6月のコンサートの時に、何色のドレスを着るか、楽しみにしてください」と話しました。



ふるさとの祭り

2017

in 浪江

11月25日、26日の両日、ふるさとの祭り2017が今年4月に一部避難指示が解除された浪江町で開催されました。ふくしまの民俗芸能を次世代へ継承していくことを目的に開催され、県内外から20団体が出演しました。

双葉町からは、前沢女宝財踊り保存会（半谷八重子会長）が参加し、室町時代から続いている女性のみの踊りを多くの観客の前で堂々と披露しました。

同会場では、浪江町内では7年ぶりとなる十日市も開催されており、町内での開催を待ち望んでいた方々が大勢訪れ、人気の出店の前には行列ができるなど大変賑わいました。



後列左から、相樂比呂紀、谷津田敬子、半谷八重子、岩本稔恵、岡田利江子、田中晴美、加賀由美子
前列左から、加村茂子、佐々木佐智子（敬称略）



十日市のようす



「せんだん」「せんだんの家」を訪問・・・JAスマイル大正琴

11月21日、JAスマイル大正琴の皆さんが特別養護老人ホームせんだん、グループホームせんだんの家を訪れ、練習を重ねた大正琴の音色を入所者の方々に披露しました。

ホールに集まった入所者の方は「手をたたきましょう」「みかんの花咲く丘」「富士山」「ふるさと」などの懐かしいメロディーが流れると、口ずさみながら手をたたいたり、目をつむって聞き入ったりしながら楽しんでる姿がありました。JAスマイル大正琴の皆さんは、入所者の方々を楽しませるために様々な工夫を凝らして披露されており、背景に手作りの富士山が登場したり、入所者の方々の側までいき、ふれ合いながら一緒に歌を歌ったりしました。

JAスマイル大正琴の皆さんに入所者の皆さんに、笑顔がたくさん見られた演奏会となりました。

双葉町復興推進連絡協議会
年末防犯パトロール

12月5日、双葉町復興推進連絡協議会は、年末防犯パトロールを実施しました。双葉駅前出発式を行い、田中清一郎会長が「第二次双葉町復興まちづくり計画が策定され、復興に伴い交流人口も多くなる。さらに除染作業や中間貯蔵施設建設に従事する人や車両が増えることから、防犯や事故防止に努めてほしい」とあいさつしました。

また、双葉警察署浪江分庁舎の大河内所長からも防犯・事故防止に取り組むとのあいさつがあり、環境省・双葉町・双葉警察署・商工会・各企業の職員および社員27人と車両10台で町内パトロールを実施しました。



長塚一行政区からのお知らせ

平成30年度総会・交流会を下記のとおり開催しますので、ご参加ください。

日時：3月25日(日)～26日(月)
 受付……午後2時30分～
 総会……午後3時～
 交流会……午後6時～

場所：小名浜オーシャンホテル
 いわき市泉町下川大畑17
 会費：10,000円

申込締切：3月14日(水) 参加の有無をお知らせください。

備考：◆町からの「現況説明会」も考えています。
 ◆参加される役員の方は午後2時にご集合ください。

【連絡先】 木幡 智清 ☎ 090-7666-3116
 岩元 善一 ☎ 090-7338-9644

三字行政区からのお知らせ 三字行政区総会・再会の集いの開催

三字行政区の総会および再会の集いを下記の通り開催します。皆さんお誘い合わせのうえでご参加ください！

日時：3月24日(土)～25日(日)
 受付……午後2時～
 総会……午後3時～
 懇親会……午後6時～

場所：小名浜オーシャンホテル
 (いわき市泉町下川字大畑17)

会費：一人 10,000円程度
 申込締切：2月15日(木)

【申し込み・問い合わせ先】

・千吉良高志 ☎ 080-5568-7091
 ・山口 清一 ☎ 090-8784-6797

新山行政区からのお知らせ

平成29年度新山行政区定時総会を下記の日程により開催いたします。多くの方のご参加をお願いいたします。

日時：2月18日(日)～19日(月) 1泊2日
 総会……午後1時00分～2時30分
 講演会……午後2時50分～3時50分
 「復興拠点まちなか再生ゾーンの取り組みについて」
 伊澤史朗 双葉町長
 交流会……午後6時00分～

場所：スパリゾートハワイアンズ
 ☎ 0246-43-7722
 会費：8,000円
 申込締切：1月19日(金) 期日厳守

【連絡先】 庶務会計 富澤政仁
 ☎ 090-9348-2271
 FAX 0246-38-9928

※行政区の総会・交流会の参加費は、生活サポート補助金の対象となります。

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について(12月15日現在) 双葉町内中間貯蔵施設保管場の輸送の状況は下記のとおりです。

搬出市町村		搬入量(袋)※	搬出市町村		搬入量(袋)※	搬出市町村		搬入量(袋)※
浜通り	相馬市	1,728	浜通り	飯舘村	22,220	中通り	本宮市	6,431
	南相馬市	11,545		葛尾村	11,354		川俣町	12,074
	新地町	1,919	中通り	伊達市	12,548		桑折町	6,860
	浪江町	17,264		二本松市	28,095		国見町	2,972
	双葉町	24,437		福島市	8,490		大玉村	1,767
						計	169,704	

▶年末年始(12月29日～1月8日)は輸送を休止する予定です。

※フレキシブルコンテナ等1袋の体積は1㎡と換算して表示する場合があります。ただし、1袋1㎡より小さいフレキシブルコンテナ等もありますのでご注意ください。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>

【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵施設等整備事務所 調査設計課 ☎ 024-563-1293



今年も、双葉町民有志の「夢ふたば人」主催により、「双葉町ダルマ市」が開催されます。

新春恒例！

■日 時：平成30年1月6日（土）～7日（日） 9:00～

■場 所：いわき市南台応急仮設住宅 イベント広場

■主な内容：

6日（土） 神楽奉納（8:00～）・巨大ダルマ引き・子ども樽神輿・桜小路富士丸（似顔絵/両日）
LOVE FOR NIPPON STAGE（渡辺俊美・Candle JUNE 他）
ふたば未来学園高等学校吹奏楽部演奏

7日（日） ダルマ神輿・双葉町芸能発表会・ひょっとこ踊り・T&Kミュージックスクールショー

※駐車スペースが少ないので相乗りまたは観光協会申込みの見学バスのご利用にご協力下さい。

【問い合わせ先】産業課 商工労政係 ☎ 0246-84-5214

◆ 双葉町民俗芸能発表会 ◆

日 時	芸 能 名	団 体 名
6日（土） 8:15	神楽奉納（渋川の神楽）	渋川芸能保存会
7日（日） 10:15	相馬流れ山踊り	双葉町相馬流れ山踊り保存会



◆ 第28回 双葉町芸能発表会 ◆ 開催日：1月7日（日）

時 間	演 目	団 体 名
10:30	開 会	
10:40	いなずま、夏	標葉せんだん太鼓保存会
10:55	津軽三味線曲弾き、花笠音頭、斉太郎節	双葉町民謡同好会
11:05	村祭、旅愁、おひさま ～大切なあなたへ～、 双葉町民の歌	コーラスふたば
11:20	一月一日、野に咲く花のように、若者たち、 荒城の月	J Aスマイル大正琴
11:35	八木節	双葉町民謡同好会
11:45	ふたば音頭	
11:50	閉 会	※開催時間は目安です

【問い合わせ先】
双葉町教育委員会 教育総務課
生涯学習係
☎ 0246-84-5210

夢ふたば！明日に踏み出せ！！ in 南台
双葉町ダルマ市開催のお知らせ

双葉ふれあいクラブからのお知らせ

平成29年度 双葉町民ボウリング大会

○日 程…平成30年2月3日（土）
受 付 開 始：12時45分～
ゲームスタート：13時30分～

○場 所…鏡石空港ボウル
鏡石町鏡沼216
☎ 0248-62-4142

○参 加 費…500円

○対 象 者…小学生以上の方

○競技方法…1人3ゲーム、ハンディキャップ制

○表 彰…1～3位
参加者全員に賞品があります。

○申込締切…平成30年1月26日（金）
電話かFAXにてお申し込みください。

○そ の 他…保険については、双葉ふれあいクラブ
で加入しているイベント共済が適用さ
れますが、それ以上の補償はありませ
んのでご了承ください。

初心者の方もお気軽にご参加ください！

【申し込み・問い合わせ先】双葉ふれあいクラブ ☎：0246-38-3325 FAX：0248-21-6188

相馬税務署からのお知らせ

1. 平成29年分確定申告書にはマイナンバーの記載が必要です。

税務署に平成29年分の所得税等の確定申告書を提出する都度、マイナンバーの記載と本人確認書類（番号と身元の確認できるもの）の提示または写しを添付していただく必要があります。（昨年マイナンバーを記載して、申告書等を提出された方についても記載が必要になります。）

《本人確認書類の例》

- （１）個人番号カード（番号確認と身元確認）
- （２）通知カード（番号確認）＋運転免許証、健康保険の被保険者証など（身元確認）

※申告書作成会場においてになる際は、本人確認書類の持参をお願いいたします。
確定申告書を郵送する場合は、本人確認書類の写しの添付をお願いいたします。

2. 確定申告書は、自宅で作成し郵送等で提出できます。

所得税、消費税及び贈与税の確定申告書の作成に当たっては、24時間利用でき、自動計算機能のある国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」が便利です。

作成コーナーで申告書を作成して紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することができます。

申告書の計算誤りの防止、来署される納税者の皆さまのご負担も軽減できますので、是非とも国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をお試しください。

※平成29年分については、平成30年1月に掲載予定です。
国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>

3. 平成29年分の所得税等の確定申告書作成会場について

平成29年分の所得税（及び復興特別所得税）、消費税及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、右記のとおり開設する予定です。

- 申告書作成会場 『相馬市振興ビル』相馬市中村字塚ノ町65-16
- 開設期間等 平成30年2月16日（金）～3月15日（木）
午前9時00分～午後4時00分

- ※1 申告書作成会場の開設期間前と開設期間中、相馬税務署内には会場を開設いたしません。
- ※2 土日・祝日は、作成会場を開設いたしません。

4. 「確定申告のお知らせ」の持参について

昨年、各市町村の申告相談会場で確定申告書を提出された方につきましては、今年より確定申告等の用紙（確定申告書、収支内訳書など）が送付されないことになりました。

今後は、確定申告書等の用紙に代えて、予定納税額等の申告に必要な情報が記載された「確定申告のお知らせ」が送付されますので、各市町村や税務署の申告相談会場に来場する際は、申告に必要な書類とともに「確定申告のお知らせ」についても持参されますようお願いいたします。

中間貯蔵施設に係る 弁護士相談窓口のご案内（1月）

◇ 開催場所及び開催日時

実施場所	開催日	開催時間
双葉町 いわき事務所	1月11日（木）	午後2時～ 午後5時
双葉町 郡山支所	1月25日（木）	午後2時～ 午後5時

◇ 申込方法

事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209

受付時間 午前8時30分～午後5時15分（平日）

食生活気をつけていますか。～野菜を主に～

「一汁三菜（いちじゅうさんさい）」

ご飯に汁物と三つのおかず。一汁三菜とは最近見直されている和食の基本的な献立です。

おかずは主菜一品で肉や魚などのタンパク質、副菜二品で野菜やキノコ、海藻などをバランスよくとります。



「野菜 350g」 大人が1日に食べる量の目標です

野菜に含まれるカリウム、食物繊維、抗酸化ビタミンなどは高血圧や脳血管疾患、がんの予防に効果と考えられています。これらの栄養素を充分とるためには、1日350g以上の野菜が必要とされています。（厚生労働省「健康日本21」）

◆350gって・・・どのくらい？

おおまかな目安は、生野菜の状態で両手に山盛りいっぱい。

これを3食に分けて、緑黄色野菜と淡色野菜（きのこ、海藻類を含む）を約1：2の割合でバランスよく食べるのが理想です。

緑黄色野菜 重さの目安

トマト（小）	1個・・・	100g
ニンジン（小）	1本・・・	150g
小松菜	1把・・・	50g
カボチャ（中）	1／4個・・・	300g

1日120gが目標です。

淡色野菜等 重さの目安

キャベツ（葉）	1枚・・・	50g
玉ネギ（中）	1個・・・	200g
もやし	1袋・・・	200g
エノキタケ	1袋・・・	200g

1日230gが目標です。

まずは「野菜もう一皿」から

現在、成人の1日に食べる野菜の量は平均で276.5gです。（平成28国民健康・栄養調査）目標の350gには、約70g足りません。

青菜おひたしは小鉢一皿で約70g。これならプラスできそうな気がしませんか。

キャベツなど葉野菜は、蒸したり茹でるとかさが小さくなり食べやすくなります。

おまけに野菜は低脂肪、低カロリーなので、たくさん食べられ満腹感を得られます。

◆「そんなに手間をかけられない・・・」という方には、こんな方法もあります。

トマトや大根おろしを一品プラス、具だくさんの味噌汁にするなど、手を抜いても栄養価（愛情！）は変わりません。寒いこの季節は温まるお鍋で野菜たっぷりもいいですね。

食事は毎日のこと、家族みんなで1食からでも、心がけてみましょう。



冬の水分補給



新年となりましたが、最近は水分補給していますか。夏場は熱中症対策でせつせと水分を補給していましたが、寒くなってからはどうでしょう？

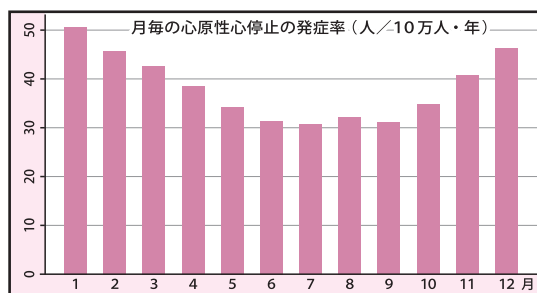
人間の体の約60%は水分です。毎日食べ物などから2～2.5リットルの水分を摂取し、尿や便、汗などで1.2～2リットルの水分を体から排出していますので、水分補給の重要性は夏場と変わっていません。

風邪対策に水分補給

風邪対策のうがい、手洗いに加えて「水分補給」も大事な予防策のひとつです。風邪やインフルエンザのウイルスは、乾燥した状態で活発となり、湿度50%以上になると活動が低下します。水分は喉や鼻の粘膜をうるおしてウイルスの侵入を防ぎ、侵入したウイルスは痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。また、風邪をひいた時は発熱、食欲低下、下痢、嘔吐などにより体から水分排出が多くなります。

心筋梗塞予防に水分補給

冬は心筋梗塞の発症が増えます。これは寒さで血圧が上昇することも一因ですが、水分も関わっています。寒いと汗をかかず、のどの乾きを自覚しにくくなる冬は水分摂取が少なくなります。水分が少ないと、血液の粘度が上がり「ドロドロ」の状態となり血管が詰まりやすく、心筋梗塞を発症する可能性が高くなります。



【2005.1～2008.12の4年間：国立循環器センター解析】

新年会に水分補給

お酒を飲むと喉が渇くことは経験されていると思いますが、アルコールには利尿作用があるため、飲酒量が多いと脱水状態となります。アルコールを飲んだら意識的に水分を補給して、脱水状態を防ぎましょう。新年をお酒で祝うときには、水分補給もお忘れなく。

— 全国健康保険協会 季節の健康情報より —

双葉町社会福祉協議会

～ 1月健康運動教室、社協サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問い合わせ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）※祝日を除く			
北幹線第二応急仮設住宅集会所 （福島市飯坂町平野字内小原田 8-1）	☎ 080-6033-1196（小林）	毎週 木曜日	13:30～15:00
郭内第一応急仮設住宅 A4-2 （白河市郭内 151-41）	☎ 080-6290-5930（小泉）	毎週 火曜日	10:00～11:30
南東北総合卸センター 2 階第 6 会議室 （郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1）	☎ 024-973-5291（開発）	毎週 水曜日	13:30～15:00
社協サロン （内容：健康体操、健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等） ※社協サロンでは昼食を準備しますので事前に申し込みをお願いします。			
郡山市喜久田公民館 （郡山市喜久田町堀之内字下河原 1）	☎ 024-973-5291（開発）	1月15日（月）	10:00～14:00
いわき市小名浜公民館 2 階会議室 （いわき市小名浜愛宕上 7-2）	☎ 0246-38-7105（渡辺）	1月25日（木）	10:30～14:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291



11月25日、NPO法人ハッピーロードネット西本由美子代表の呼びかけで、町内の復興関連事業に当たる企業などにより、国道6号沿い双葉厚生病院入口交差点の花壇にパンジーの植栽が行われました。一時帰宅の際には、ぜひご覧ください。
なお、同法人では来年春ごろにも植栽活動を予定しています。

**国道6号
パンジーの植栽を
行いました**

消防署からのお知らせ



謹んで新年のお祝いを申し上げます。
本年もより一層の**火の用心**をよろしく願いいたします。
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



年始から「火の用心！」を心がけましょう

この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。
火災はいつ、どこで起きるかわかりません。
素晴らしい一年にするためにも、火災予防を徹底しましょう！



冬になると注意が必要な病気とは？

上記にもありますが、冬は空気が乾燥します。夏は水やスポーツドリンクなどで水分を補給することが多いと思いますが、冬になると温かいお茶や、コーヒーを飲む人が多いのではないのでしょうか？

物にもよりますが、お茶やコーヒーには利尿作用があり、**知らぬ間に脱水**になってしまう場合があります。脱水になり、血がドロドロになると心筋梗塞などの危険な病気が潜んでいます。水分補給や加湿をして対策をとりましょう。

窒息事故に気をつけて！

年末年始は、餅などによる窒息事故が多くなります。年間を通じて「不慮の窒息」による死亡者数の**85%以上**を65歳以上の高齢者の方が占めており、**特に1月の高齢者が占める割合が約90%**となっています。

不慮の窒息事故を防ぐためには周りの方の協力も必要です。特に高齢者がいるご家庭は、餅を小さく切ったり、食事の様子を見るなど注意を払うようにしましょう。



平成29年度 全国統一防火標語 **【火の用心 ことばを形に 習慣に】**

**火事と救急は
119番**

< 消防署連絡先 >

- ・浪江消防署 ☎0240-34-7360
- ・富岡消防署 ☎0240-25-2119





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

【文芸】

（短歌）

○ 大津波 ふんばり耐えた 桜の木
生きていたよと 蕾ふくらむ

（俳句）

○ 稲穂波 セシウムなきを 祈りけり

（川柳）

○ 七五三 飴も袂も たもと 引きずって
○ 年の瀬に 里の香運ぶ 宅急便
○ 仮設棟 生きてる証し 賀状書く
○ 紫蘇の実の 漬物旨し 朝茶飲む
○ 孫華飾 あちらこちらの 古郷訛り
○ 四人の子 育て、くれた 和裁箱
○ 補聴器で しばし聞きいる 虫の声

（里謡）

○ 今日も暮れ行く西空眺め明日は あした どんな陽が昇る
○ 雪の安達太良朝日に映えて気高き勇姿仰ぎ見る
○ 祝い袋に虎子入れて出番待ってる年の暮れ
○ 友を訪ねてわらびのみやげ検査済みよと言う哀れ
○ 今年こそはと誓いの言葉何も変わらず むとせ 六年過ぎ
○ もみじのお手てつないだあの日早幾年ぞ今日成人

今泉 禮子（長塚二）



人のうごき11月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
やまだ 山田 隼 はやと	10月25日	薫・有里	山田
あんざい 安齋 寧華 やすか	11月11日	毅紀・百恵	長塚二
よこた 横田 葵空 あお	11月14日	宏衛・真紀	三字
まつもと 松本 幸枝 ゆきえ	11月15日	正道・奈美	三字

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
福地美枝子	92	10月27日	新山
大田 定	79	10月29日	下条
林 トミエ	100	10月29日	山田
菅本 學	83	11月4日	長塚一
長嶋 修一	53	11月5日	長塚一
大友 敏幸	70	11月6日	新山
鳥海みや子	96	11月11日	寺松



（明暗分岐点）

○ 街路樹の 日毎に変わる 霜の月
○ 終り田に 鷺の細足 そぞろ寒む
○ 師走風 広い背中を 丸くする
○ 歳の暮れ 迫る音かや 北の風
○ 除夜の鐘 忍び寄るよな 響あり

○ 白い横綱 つな こぶし一振り 黒となり

武内 恒雄（長塚二）



双葉町民の避難状況 （平成29年11月30日現在）

- ・福島県内に避難されている方 4,080人
- ・福島県外に避難されている方 2,845人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から
死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示し
ています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、
死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご
連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第56号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

掲載する文章は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202

やない みつる
箭内 充 さん

(山田)



●避難先●
 福島県いわき市



大混乱した避難直後

大地震の発生後、町内に嫁いだ長女から、避難所での支援に携わっているため帰宅できないと連絡を受けたため、長女の義母や孫たちとともに自宅で過ごしました。

震災翌朝、避難指示が出され町を離れる際や最初に原発が爆発したときも、長女と合流できず川俣町の避難所で不安な時間を過ごしました。数日後、長女と無事再会でき、ようやく安堵することができました。

少しでも故郷の近くへ

私たち一家は町の集団避難により、しばらく加須市内で生活しました。福島第一原発で過酷な環境の中で仕事にあたっていた勤務に平成23年4月末に戻り、私も復興作業に従事しました。

いわき市での単身赴任生活となる中、家族が落ち着けるところを確保したいと考えようになり物件探しを始めましたが、埼玉県内は街の過密さと環境の違いを感じたためにあきらめました。一方、単身赴任先のいわき市内も過密さはありませんが、故郷に近く、双葉町民も多いなど親近感があり、住むところを建てることにしました。

故郷を離れても

小学生の頃に父を亡くし、地域の皆さんに支えられて育ちました。震災の十数年前

に自宅を新築しましたが、父が建てた家の部材を一部に再利用しました。今回、家を建てるにあたって、同じような雰囲気の家になるよう何度も住宅展示場に足を運び、庭に石灯籠や植栽を施し、5坪程度の家庭菜園も造りました。「避難で故郷を離れても心は故郷と繋がっている」という気持ちを子どもや孫たちに引き継いでいきたいと思っています。

前向きな気持ちで故郷と関わる

震災から3年後、長年お世話になった勤務先を退職し、開校から昨年3月まで町立学校の用務員を務めました。避難後、不安が重なり気持ちが後ろ向きになりがちでしたが、教員の熱心な姿や子どもたちの元気な様子に将来への希望を感じ、学校を訪れる保護者や役場関係者と言葉を交わすようになり、今後のことを悩むより健康で前向きな日々を送ろうと変わっていききました。

昨年春、山田行政区長に選任され、また現在、町復興町民委員会のメンバーも務めています。今年度は町内の一部地域が特定復興再生拠点の認定を受けるなど、故郷再生に向かって動き出した節目となりました。本格的な復興には多くの困難と長い年月を要しますが、現在引き受けさせていたでいる役職等を通して、将来世代に希望を残せるように微力ながら活動していきたいと思っています。



にしやま りゅうせい

西山 竜生 さん

(新山)

●避難先●
福島県本宮市

志望動機は「母の言葉と被災経験」

幼い頃から母に「大人になったら消防士に」と言われ続け、将来は消防士になりたいと思っていました。被災当時は双葉中学校1年生で、避難指示により、本宮市内にある母の実家に身を寄せました。避難先で多くの消防士が救援にあたる姿を見て「消防士を目指す」という志を持つようになりました。特に、特別救助隊（レスキュー隊）の活動に心を動かされました。

教室と職員室を往復した日

避難後、私たち一家は母の実家を離れ、本宮市内の借り上げ住宅を経て、同市内に建てた自宅に移り、私は本宮第一中学校から県立本宮高校に進みました。大学や専門学校等への道もありましたが、母親に負担をかけたたくないという気持ちが強く、自宅から通え、特別救助隊がある郡山地方広域消防組合の採用試験を受けました。

採用試験では、受験者約170名が一次で約50名に絞られ、二次（最終試験）ではその約半分程度になります。一次試験を通過して二次試験に臨み、最終可否は消防組合のホームページに受験番号が掲示され発表されることになっていました。

合格発表当日、学校で授業を受けていましたが、発表を待ちわびて授業間休憩になると、消防組合のホームページを見るため

に何度も職員室に向かいましたが、ついに結果が掲示され私の受験番号を見つけたときには、担任や同級生と抱き合って喜び合いました。

消防士として歩み始める

平成28年4月に採用後、県内各消防組織の新採用者とともに福島県消防学校に入校し、初任教育第78期82名、178日間の課程を受けました。日々の厳しい訓練や1室4名の寮生活など、戸惑うこともありましたが、集団生活・行動を学ぶことができ、一生忘れることのない貴重な経験でした。その後、救急科の専科教育を経て、同年12月下旬から郡山消防署日和田分署に勤務しています。同分署での勤務も1年を越えましたが、まだまだ勉強の連続で、先輩方から指導を仰ぐ日々です。

成人式を迎えて

大きな不自由を感じることなく、平穏な生活が当たり前と思っていた中、震災と原発事故により、その常識は大きく覆されました。この春、成人式を迎えますが、これまで見守ってくれた家族、日々指導していただいている先輩方、消防活動にご協力をいただいている地域住民の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。今後は成人としての自覚を持ち、消防に携わる者として、より一層、職務に精進していききたいと思っています。

もりいえ しおん
守家 偲音さん

(鴻草)



●避難先●
茨城県つくば市



最初で最後の持久走大会は入賞

幼い頃から体を動かすこと、特に走ることが得意で、学校で行われる持久走大会やマラソン大会に出るのが楽しみになっています。避難のため1年生3学期の終業式間近までしか通えなかった双葉北小学校でも、持久走大会では上位に入賞していましたが、双葉町で過ごしたのは約7年間ですが、その大会は故郷における「最初で最後」の持久走大会入賞となってしまいました。

思わぬ得意技になった「雪かき」

震災翌朝から原発事故による避難指示で町を離れ、川俣町の避難所を経て、親類を頼り、一時、南会津町内で過ごした時期もありました。当時は例年にならない大雪で身長を超える積雪がありました。その頃、避難など自分たちの置かれた立場や世間の状況についてあまりよく理解できていませんでしたが「お世話になっっている」という自覚はあり、何かしなければと思って雪かきの手伝いをしました。雪かきの経験はほとんどありませんでしたが、自分なりに要領よくできた、ちよつとした得意技のようでした。

小中一貫校8年生になりました

平成23年4月、旧騎西高校の避難所に移り、2年の新学期から3年2学期の終業まで騎西小学校に通いました。その後、避難

先の転居に伴い、小学校卒業まで何度か転校しましたが、その度、転校先に馴染むのが難しかったり、同級生と離ればなれにならざるを得なかったりしたため泣いたこともありました。

現在、つくば市立つくば輝翔学園8年生（一般には谷田部中学校2年生）です。この中学校は計9年間の小中一貫教育で2学期制になっているため、中学1年生は7年生となり、学期は前期・後期となります。

中学生になってからも走ることが好きなのは変わらず、部活は陸上部に入り3,000m・1,500m走で活動しています。

ふくしま駅伝に初出走

平成28年、双葉町チームの一員としてふくしま駅伝に出場しました。補欠メンバーだったためコースに出ることはありませんでしたが、昨年行われた第29回大会で初めて出走し、故郷双葉町のタスキを胸に8区4.1キロ（郡山市内）を走りました。

大会にあたって、全体での練習はほとんどできず、福島県外で避難生活を送っているため他市町村の出場選手の状況が分からないなど「ぶつつけ本番」での参加となりましたが、タスキを繋いでいくことを通して、故郷を離れていても、双葉町の絆や将来への希望をアピールできたのではないかなと思っています。

ぼくの夢・わたしの夢



「ダンス発表会時のみりなさん」

神奈川県藤沢市立本町小学校 6年 ^{いずみだ} 泉田 みりな さん（鴻草）

私の将来の夢は2つあります。1つ目は看護師です。看護師を目指している理由は曾祖母に言われた言葉です。看護師だったおばあちゃんは、元気で明るくてそんなおばあちゃんが好きでした。ある時、私にこんなことを言いました。

「将来看護師になりなさい。看護師は、人の命を助けるいい仕事だよ」この言葉で私は看護師を目指そうと思いました。

2つ目はダンサーです。毎週2回のレッスンを受けています。踊ることが大好きなのでこれからも続けていこうと思います。

私の将来の夢は「踊れる看護師」

平成30年の新しい年を迎えました。今月の表紙は、JA女性部双葉支部の皆さんが「双葉ダルマ」の絵付けをしている場面です。新春の双葉町ダルマ市に向けて、皆さん笑顔で絵付けをしています。年末は新年の準備で忙しく過ごされた方も多いと思いますが、新たな年に希望を膨らませ、忙しさも乗り切れたものと感じます。

新しい年が始まりましたが、皆さんは今年一年どのような行事を楽しみにしていますか。成人式、双葉町ダルマ市、入園式、入学式、入社式、還暦祝い、家族旅行、自治会・行政区の集まりなど、各年代で楽しみにしていることがあるかと思いますが、年代が違えば楽しみにしている行事も違うとは思いますが、楽しい行事を心待ちにする気持ちはどの年代も同じなのかもしれません。今年もさまざまな行事を取材させていただくことを、楽しみにしています。

編集後記

今月のベストスマイル



いわき・まごころ双葉会12月例会に参加されていた林 正江さん（左、寺松）と笹田 二七さん（右、寺松）の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20-2

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

携帯サイト

<http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

○双葉町復興ポータルサイト

<http://www.futaba-fukkou.jp>

